




# 就学児童票(案)

- 注)  潜在ニーズの把握のための項目として設定することが必要。  
 潜在ニーズの詳細な分析に必要な項目であり、自治体の必要性に応じ設定。  
 基本的にニーズ推計には直接用いないが、ニーズの背景等を分析するために、自治体の必要性に応じ設定。

## 1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成   年   月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成〇年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

人 末子の年齢  歳

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 父母同居      2. 父同居(ひとり親家庭)      3. 母同居(ひとり親家庭)      4. 祖父同居  
5. 祖母同居      6. 祖父近居      7. 祖母近居      8. その他

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる  
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる  
5. いずれもない

問4-1は、問4で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない  
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である  
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
5. その他

問4-2は、問4で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない  
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である  
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
5. その他

調査対象世帯の状況を把握するためのフェイス項目群。クロス集計に活用する機会が多いと考えられるため設定してあるが、当該自治体の問題意識に応じて取捨選択すること。

宛名の子どもの年齢を把握。年齢別の推計ニーズ量を算出したい場合に活用。  
世帯の子ども人数及び末子の年齢を把握。将来の母親の再就職時期等を把握したい場合などに活用。

家庭内の支援の可能性の観点から同居の祖父母等の有無を把握。核家族か三世帯家族か、ひとり親世帯かを区別する。家族類型の設定に活用。

友人や地域の支援の可能性の観点から把握。日常的あるいは緊急時に預け先があるかどうかを把握する。家族類型を詳細に設定したい自治体で活用。

ライフスタイルの変更希望（身内や友人・知人からの支援に関する将来の考え方）を把握する。ニーズ推計において、家族類型を詳細に設定したい自治体では、潜在家族類型設定に活用。

問4-1に同じ